

松平肥後守足輕見部源八妻つるといふ者もと相州出生のよし一體血の道持病にて兎角氣をぶさぐ證なりしに三十五六歳の頃より頭髮常より殊の外伸び五十五六歳に至り凡髮の長さ六尺餘りに成り結びし餘り疊を曳ごとくなれども固より病證なればにや少しも無理におさめなどすれば即時に氣分あしく夜分なども臥せる夜具など疊みし上に倚かゝり漸々眠に就けりさるあひだ食事の世話などはせしかど他行は決して許さゞりしよし是亦一奇病なるべし。

〔新撰字鏡〕髻子之反、平、口上毛、加美豆比介。

〔倭名類聚抄〕髻子移反、和名加美豆比介。

〔箋注倭名類聚抄〕髻上音須、下音冉、和名之毛豆比介。所引須部文原書髻作頰按玉篇云頰或作髻原書髻作須按須本訓頰下毛

借爲頰字故須髮之須俗從髻也釋名口上曰髻髻姿也爲姿容之美也。○中 鬚俗須字髻同頰並見

廣韻原書云須面毛也又云頰頰須也二字異訓此鬚髻二字連文訓頰下毛與原書不同按禮記禮

運正義引說文作鬚謂頰下之毛其訓與此合今本說文作面毛恐誤然單訓鬚字不連訓髻字釋名

亦云口上曰髻口下曰承漿頰下曰鬚在頰耳旁曰髻然則鬚左頰下髻在頰不在頰下源君連引非

是但郭璞注西山經云髻咽下須毛也與說文釋名異釋名又云鬚秀也物成乃秀人成而須生也亦

取須體幹長而後生也又云髻隨口動搖冉冉然也。

〔類聚名義抄〕髻音茲、カミツ 鬚音、須ヒケ 鬚音、須ヒケ 鬚音、須ヒケ 鬚音、須ヒケ 鬚音、須ヒケ

〔伊呂波字類抄〕髻亦作、頰ヒゲ 鬚同 鬚同 鬚同 鬚同 鬚同

〔下學集〕支上體二鬚義同 鬚義同 鬚義同 鬚義同 鬚義同 鬚義同

〔增補下學集〕支上體二鬚義同 鬚義同 鬚義同 鬚義同 鬚義同 鬚義同

〔倭訓栞〕編四がつらひげ 源氏に見ゆ鬚鬚の義也細流におもづらひげ也といへり。